

伊豆縦貫自動車道（あまぎ ゆがしま天城湯ヶ島～かわづ河津）
第2回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

平成29年3月27日

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ	2
2. 第1回意見聴取の結果	7
3. 対応方針の検討	20
4. 第2回意見聴取の方法	30

1. 計画段階評価の検討の流れ

1. 計画段階評価の検討の流れ

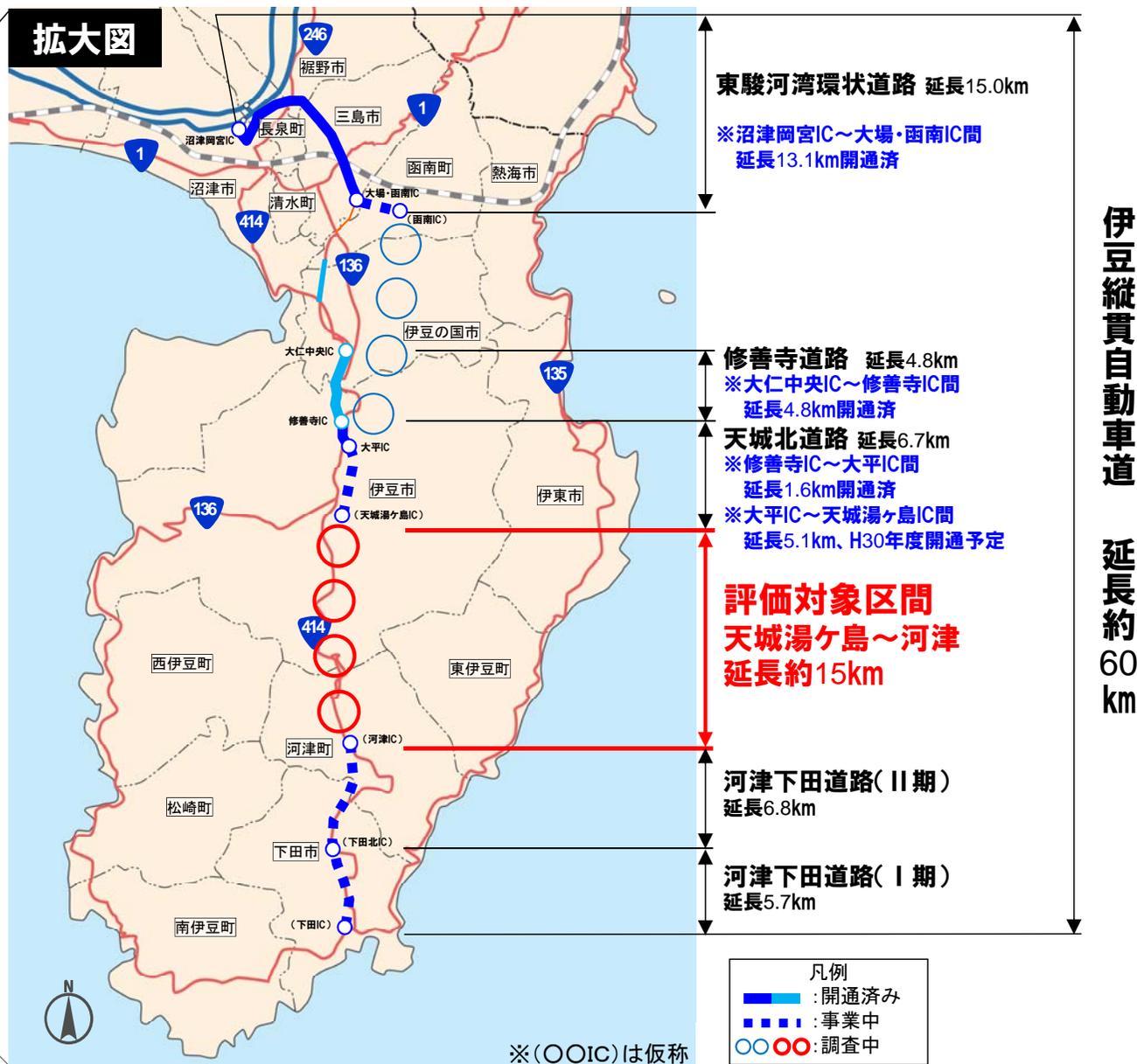
1) 評価対象区間

■ 評価対象区間は、伊豆半島の南北軸を形成する高規格幹線道路 伊豆縦貫自動車道（延長約60km）のうち、伊豆市から河津町を結ぶ延長約15kmの区間。

広域図



拡大図

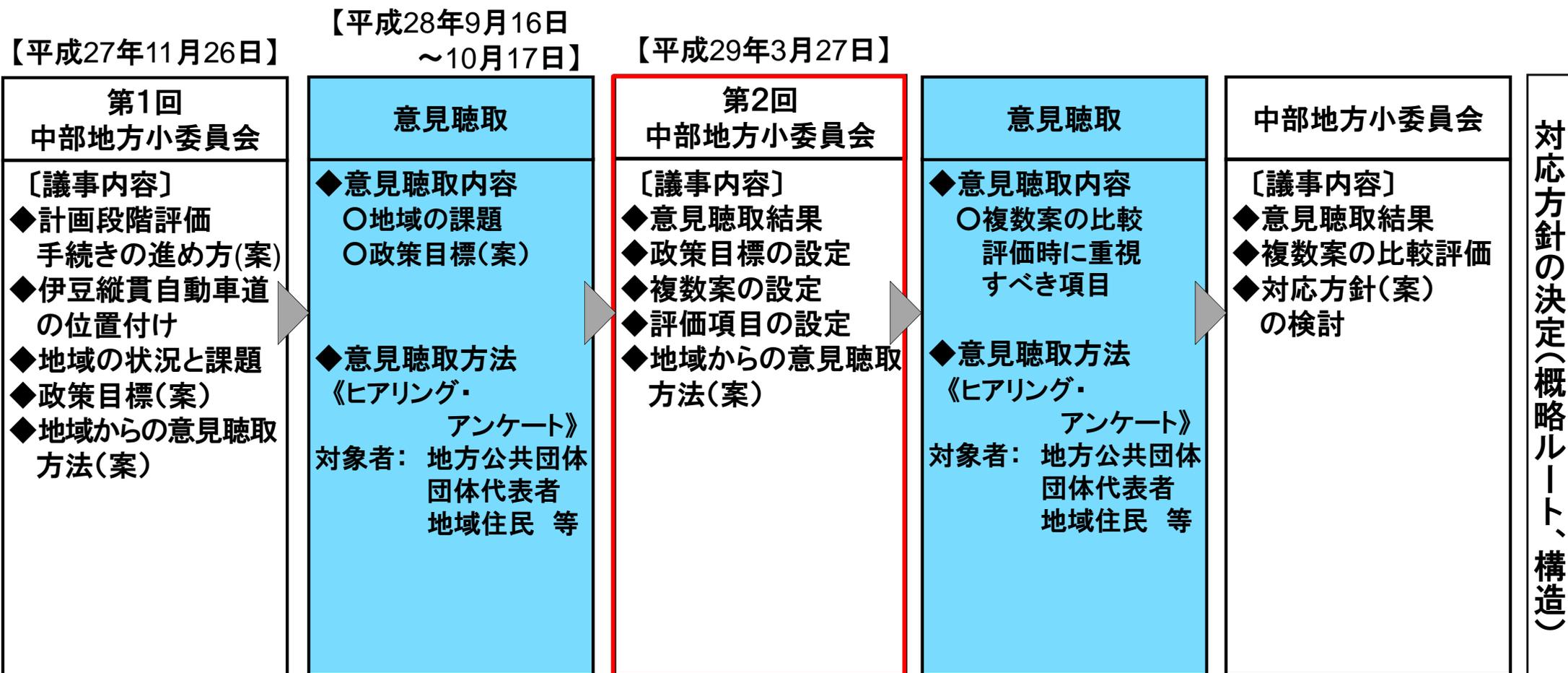


伊豆縦貫自動車道
延長約60km

1. 計画段階評価の検討の流れ

2) 計画段階評価手続きの進め方

■ 地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略の計画案(複数案)〕について検討を行う。



1. 計画段階評価の検討の流れ

3) 前回審議内容①

■平成27年度 第1回社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会の概要

実施日：平成27年11月26日（木） 開催

主な議事：

- ①伊豆縦貫自動車道の位置付け
- ②伊豆地域の状況と課題
- ③政策目標（案）の設定
- ④地域からの意見聴取方法（案）

■平成27年度 第1回社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会での 第1回意見聴取にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・道路ができることによる伊豆地域の産業に対する経済効果を示せないか。	・「各種団体聞き取り調査」に反映。 ・商工・観光、漁業、農業の事業者を対象に、期待できる経済効果を聞き取る。
・アンケートは、伊豆地域以外の高速SAや道の駅など広域的に行ってはどうか。	・伊豆地域以外の高速SA、道の駅の利用者を対象に調査を実施。 高速SA：新東名駿河湾沼津SA(上り)、東名足柄SA(下り) 道の駅：富士、富士川楽座、ふじおやま、すばしり、箱根峠
・ヒアリングの対象は、路線の特性から広げてはどうか。	・箱根町観光協会、熱海市観光協会へのヒアリング調査を追加。 ・政策目標(案)の「観光」に着目し、首都圏や中部圏の観光事業者にヒアリング調査を実施。 ・政策目標(案)の「防災」に着目し、首都圏の災害相互支援協定締結自治体等を対象にヒアリング調査を実施。

1. 計画段階評価の検討の流れ 3) 前回審議内容②

伊豆地域(天城湯ヶ島～河津)の状況と課題

南海トラフ巨大地震への備えが不十分

- 伊豆地域沿岸部では、高確率で発生が想定されている南海トラフ巨大地震等の津波(推定津波高さ5~33m)により浸水が想定
- 内陸部の国道414号では、緊急輸送が可能なレベルの復旧に1週間以上を要する

■緊急輸送道路の被害想定(南海トラフ巨大地震時)



■30年以内の地震発生確率

南海トラフ巨大地震	発生確率
東海地震	88%
東南海地震	70%
南海地震	60%
相模トラフ地震	70%

出典: 文部科学省地震調査研究推進本部(H24.1)

【交通施設等の被害の影響度ランク】

影響度ランク	被害規模	緊急輸送が可能なレベルの復旧に要する日数目安
AA	大	1週間以上
A	中	3日~1週間
B	小	当日~3日
C	なし	—

出典: 静岡県第4次地震被害想定(第二次報告)(H25.11)

出典: 内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(H25.3)より作成

大雨や土砂くずれによる通行止めが頻発

- 伊豆地域の緊急輸送路には異常気象時事前通行規制区間(連続雨量・積雪)が存在
- 国道414号では大雨や土砂くずれ・倒木による通行止めが過去10年で計32回約1,700時間発生

■伊豆地域の通行規制区間



■対象区間の通行止め実績



1. 国道414号【法面決壊】(H21.11)



出典: 静岡県資料

高次医療施設への搬送に長時間を要する

- 伊豆地域南部には第三次救急医療施設が無い、下田消防本部の管外搬送のうち約8割が伊豆地域北部の第三次救急医療施設への搬送
- 伊豆地域南部から伊豆地域北部の第三次救急医療施設への救急搬送には、60分以上の時間を要する

■第三次救急医療施設への搬送時間60分圏



■下田消防本部の管外搬送先内訳



出典: H22道路交通センサ旅行速度で算出

伊豆地域南部の観光産業が停滞

- 伊豆地域の交通網は、鉄道網が限定的で長距離バス網も乏しいため、観光時の移動手段の約8割は自動車を利用
- 観光期の交通集中により、主要な路線において著しい渋滞が発生
- 伊豆地域の観光交流客数は、北部は増加傾向にあるものの、南部は近年減少傾向

■伊豆地域への利用交通手段



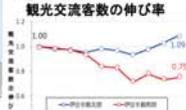
■お盆期間の渋滞状況



■伊豆地域への観光交流客数の推移



■伊豆地域の観光交流客数の伸び率



※伊豆半島観光センターより作成

※民間プロポーザルデータより作成(H27年6月13日~15日7時台)

出典: 静岡県観光交流の動向

カーブや急な坂で走りづらい道路

- 国道414号には、平面および縦断の線形不良区間や幅員不足区間が多く走行性に課題
- 特に、河津町内には顕著な速度低下を生じさせる河津七滝ループ橋(R=40m)やヘアピンカーブ(R=25m)が存在



カーブ(R=40m)で車線をはみ出し走行する大型車



縦断勾配が9%以上と厳しく、速度低下が発生



高低差45mで二重の螺旋カーブで結ぶ河津七滝ループ橋(R=40m)

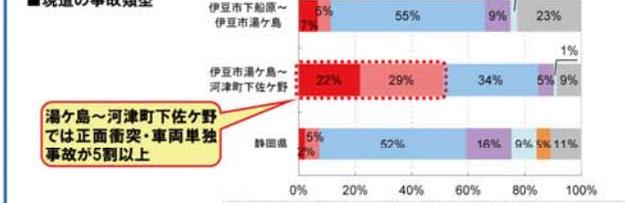


速度低下を生じさせるヘアピンカーブ(R=25m)

重大な交通事故が多発

- 線形不良区間が連続する伊豆市湯ヶ島～河津町下佐ヶ野間は、死亡・重大事故に直結しやすい「正面衝突」や「車両単独」事故の比率が高い

■現道の事故類型



※)四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。出典: ITARDAデータ(H22~H25)

■現道の事故要因

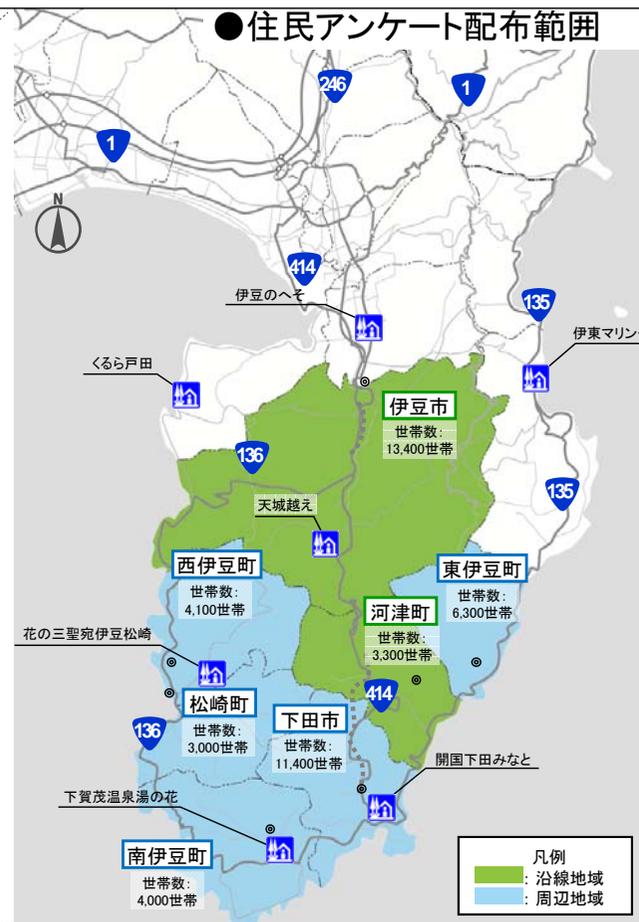
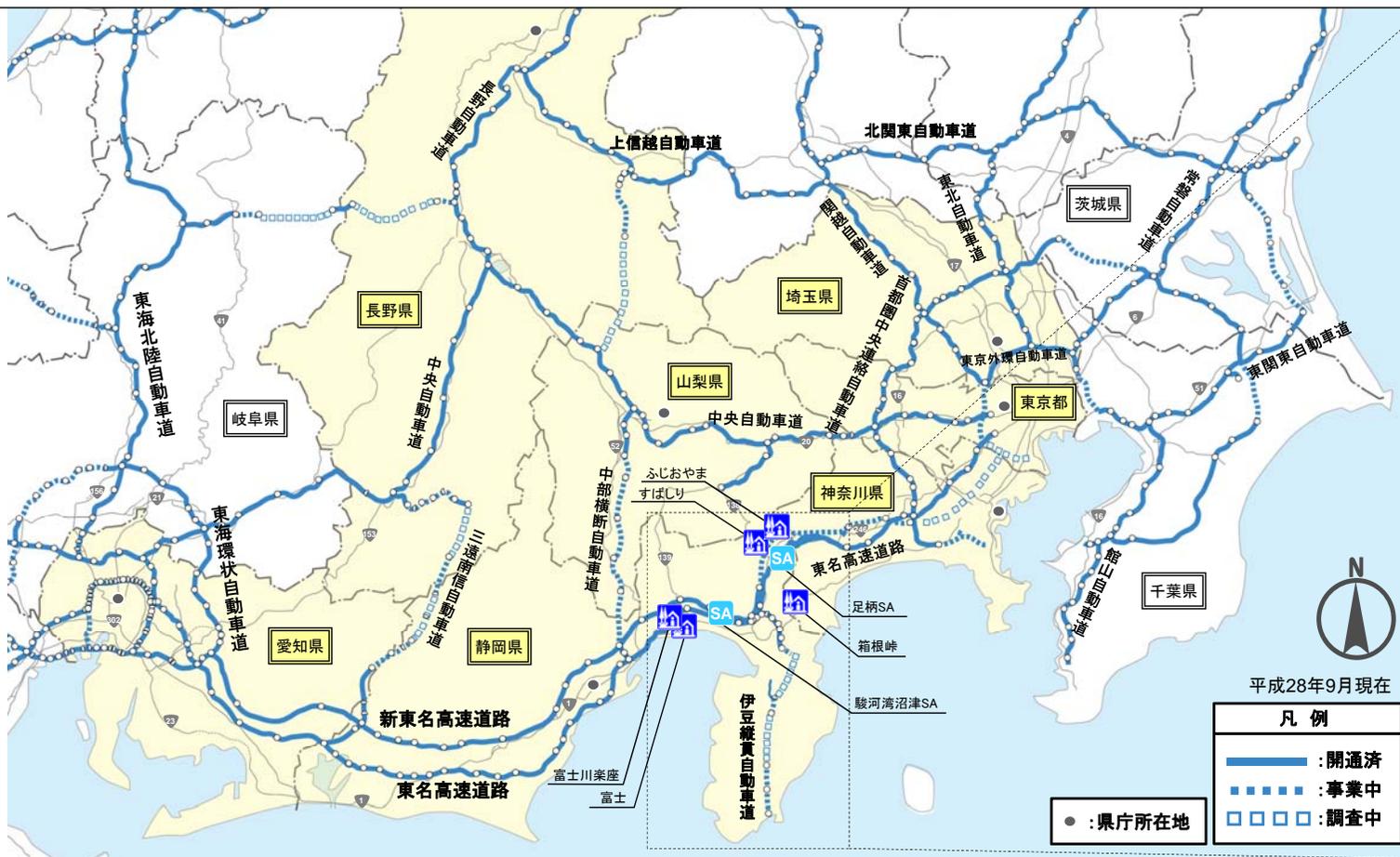


出典: ITARDAデータ(H22~H25)

2. 第1回意見聴取の結果

2. 第1回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要①

■伊豆地域全域の地方公共団体や沿線・周辺地域の住民、各種団体、道路利用者などから、伊豆地域の課題、政策目標(案)の妥当性等について意見を幅広く聴取。



調査項目	対象
①住民アンケート(7市町約48,384世帯+HP掲載)	下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
②道路利用者アンケート(道の駅、SA+WEBアンケート+HP掲載)	道の駅: 花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くらら戸田、富士、富士川楽座、ふじおやま、すばしり、箱根峠、高速道路SA: 新東名 駿河湾沼津SA(上り線)、東名 足柄SA(下り線)、Webアンケート: 伊豆半島への来訪経験のある方(免許所有者)
③沿線地域アンケート(約2,091団体)	商工会会員、観光協会会員、温泉旅館組合会員、静岡県トラック協会会員、静岡県バス協会会員、静岡県タクシー協会会員
④地方公共団体ヒアリング(7都県、16市町)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県(土木事務所、振興局等含む)、愛知県、沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町
⑤沿線・周辺地域ヒアリング(44団体)	消防署、警察署、医療機関、商工会、観光協会、温泉旅館組合、漁業協同組合、農業協同組合、わさび組合、「道の駅」代表
⑥その他地域ヒアリング(8団体)	自衛隊、箱根町観光協会、熱海市観光協会、中部圏・首都圏の全国旅行業協会・日本旅行業協会、沿線地域と相互支援協定を締結している地方公共団体

2. 第1回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要②

■意見聴取の方法、対象者および回収状況

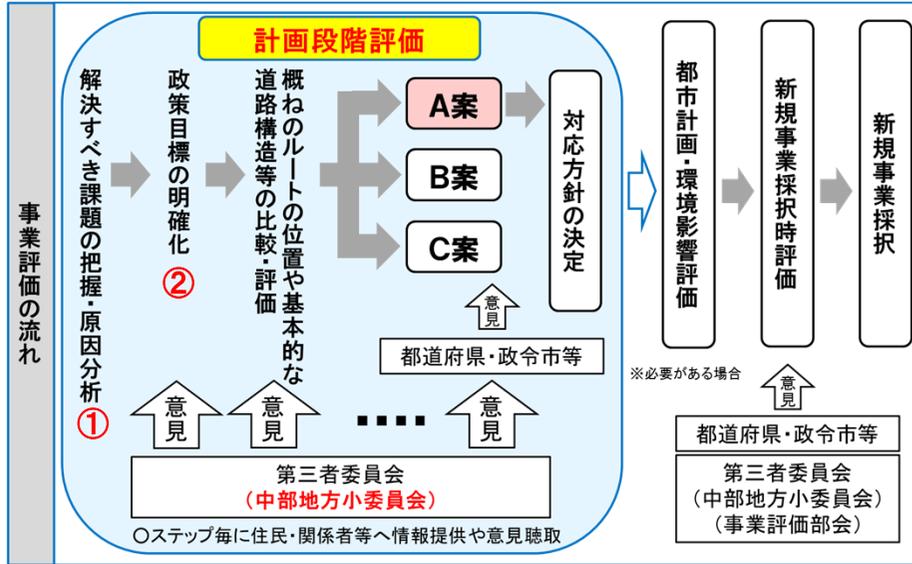
調査項目		回収方法	実施期間	対象	調査数	回収数	回収率	
アンケート	①住民アンケート	郵送回収	平成28年10月1日(土)～平成28年10月17日(月)	下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	47,178票	12,596票	27%	
		役場常設	平成28年9月16日(金)～平成28年10月17日(月)		—	189票	—	
		事務所HP Eメール・FAX	平成28年9月16日(金)～平成28年10月17日(月)		—	10票	—	
	小計					47,178票	12,795票	—
	②道路利用者アンケート	「道の駅」利用者	施設常設	平成28年9月16日(金)～平成28年10月17日(月)	花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くら戸田	—	43票	—
			インタビュー	平成28年10月15日(土)～平成28年10月16日(日)	富士、富士川楽座、ふじおやま、すばしり、箱根峠	522票	522票	100%
		高速道路SA利用者	インタビュー	平成28年10月15日(土)～平成28年10月16日(日)	新東名 駿河湾沼津SA(上り線)、東名 足柄SA(下り線)	211票	211票	100%
		WEBモニター	WEB	平成28年10月14日(金)～平成28年10月17日(月)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県	500票	500票	100%
		事務所HP	Eメール・FAX	平成28年9月16日(金)～平成28年10月17日(月)	全国	—	6票	—
	小計					1,233票	1,282票	—
③沿線地域アンケート(団体)	郵送回収	平成28年10月1日(土)～平成28年10月17日(月)	商工会会員、観光協会会員、温泉旅館組合会員、静岡県トラック協会会員、静岡県バス協会会員、静岡県タクシー協会会員	2,091票	786票	38%		
小計					2,091票	786票	—	
合計					50,502票	14,863票	—	
ヒアリング	④地方公共団体ヒアリング (7都県、16市町)	ヒアリング ※一部郵送	平成28年9月28日(月)～平成28年10月14日(水)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県(土木事務所、振興局等含む)、愛知県沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町				
	⑤沿線・周辺地域ヒアリング (44団体)		平成28年9月28日(月)～平成28年10月7日(金)	消防署、警察署、医療機関、商工会、観光協会、温泉旅館組合、漁業協同組合、農業協同組合、わさび組合、「道の駅」代表				
	⑥その他地域ヒアリング (8団体)		平成28年10月12日(水)～平成28年10月19日(水)	自衛隊、箱根町観光協会、熱海市観光協会、中部圏・首都圏の全国旅行業協会・日本旅行業協会、沿線地域と災害時相互支援協定を締結している地方公共団体				

2. 第1回意見聴取の結果

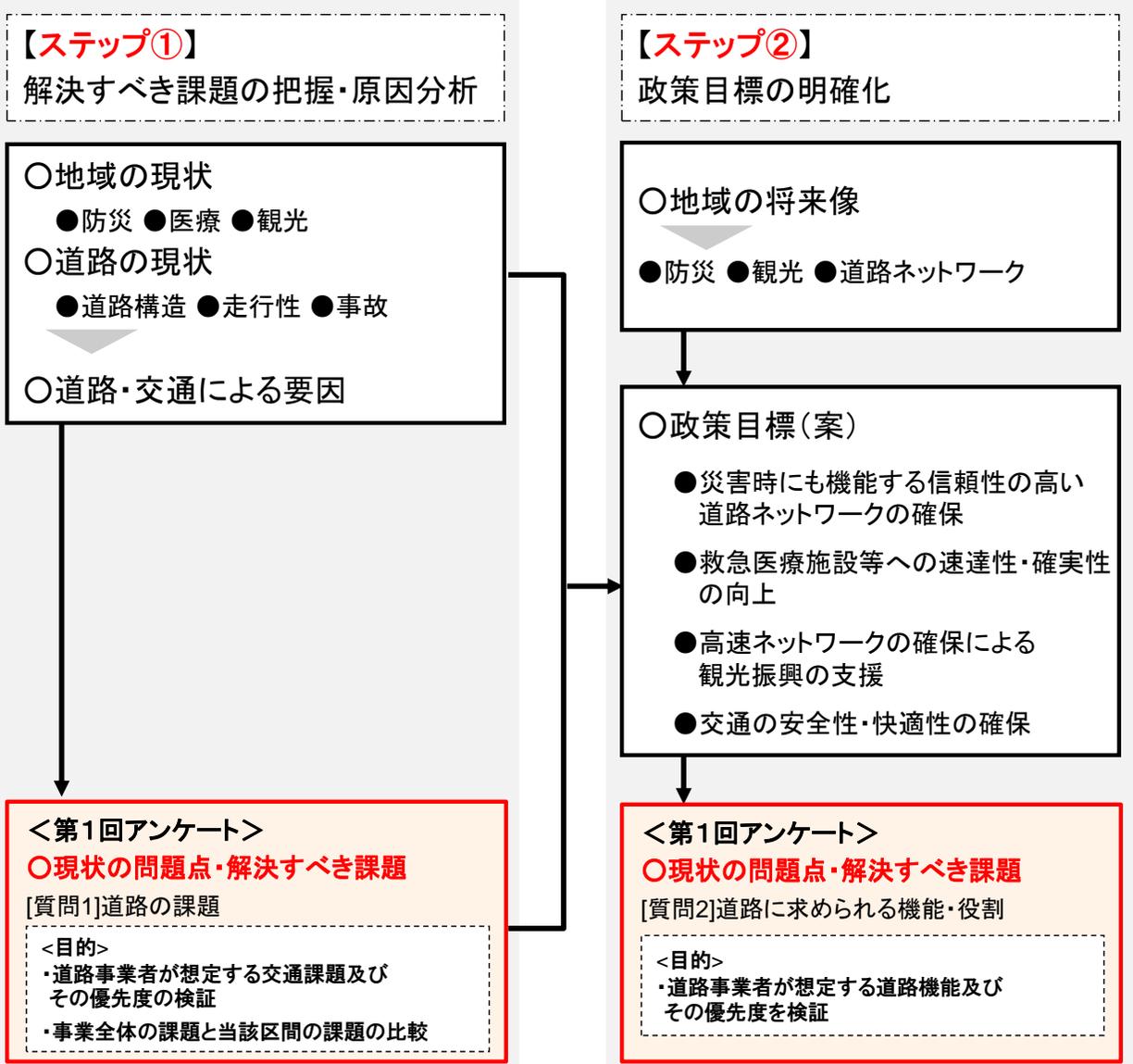
1)意見聴取の概要③

■計画段階評価の流れに従って、評価の視点及びアンケート調査目的を整理。

■事業評価の流れ



■計画段階評価の作業ステップとアンケート調査目的の整理



■評価の視点

ステップ①

・事業目的となる解決すべき課題・背景を把握し、その原因を分析する。

ステップ②

・達成すべき政策目標を明確化する。

2. 第1回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要④

■ アンケート調査目的を踏まえて、アンケート調査項目を設定。

	【ステップ①】解決すべき課題の把握・原因分析		【ステップ②】政策目標の明確化		
	課題	原因	第1回アンケート 質問1:道路の課題	政策目標(案) 第1回アンケート 質問2:道路に求められる機能・役割	
災害	・大規模地震 ⇒南海トラフ巨大地震等発生後、伊豆地域沿岸部では津波による浸水(推定津波高さ5~33m)が想定されるほか、内陸部の国道414号では、緊急輸送が可能なレベルまでに復旧するのに1週間以上を要する	・災害時における信頼性のある道路が無い	①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある ②大雨や土砂くずれ、倒木による通行止めが多い	・災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
	・異常気象 ⇒伊豆地域の緊急輸送路には異常気象時事前通行規制区間(連続量・積雪)が存在し、国道414号では大雨や崩土・倒木による通行止めが過去10年で計32回、約1,722時間発生				
医療	・救急活動 ⇒第三次救急医療施設への陸送は、60分で到着できない地域が存在し、伊豆地域南部の心疾患や脳血管疾患の死亡率は全国平均の約2倍	・速達性や信頼性が不十分	③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる	・救急医療施設等への速達性・確実性の向上	②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
観光	・移動手段 ⇒伊豆地域への交通網は、鉄道網が限定的で長距離バス網も乏しいため、観光時の移動手段の約8割は自動車を利用 観光シーズンに渋滞が多いことや道が狭く走りにくいなど、旅行中の移動に対する不満は高い ・観光交流客数 ⇒伊豆地域の観光交流客数は、北部は増加傾向があるものの、南部は増加がみられない	・交通ネットワークが不十分	④観光期の渋滞がひどい	・高速ネットワークの確保による観光振興の支援	③観光客が円滑に移動できること
道路	・線形不良 ⇒国道414号は、平面および縦断の線形不良区間、幅員不足区間が多く、走行性に課題	・道路幾何構造の不良による安全性・走行性の低い道路	⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい ⑥交通事故が多い	・交通の安全性・快適性の確保	④安全・快適に走行できること
	・交通事故 ⇒国道414号は、伊豆市湯ヶ島～河津町下佐ヶ野間において、線形不良区間が連続し、事故件数が多い ⇒特に、死亡・重大事故に直結しやすい「正面衝突」や「車両単独」事故の比率が高い				

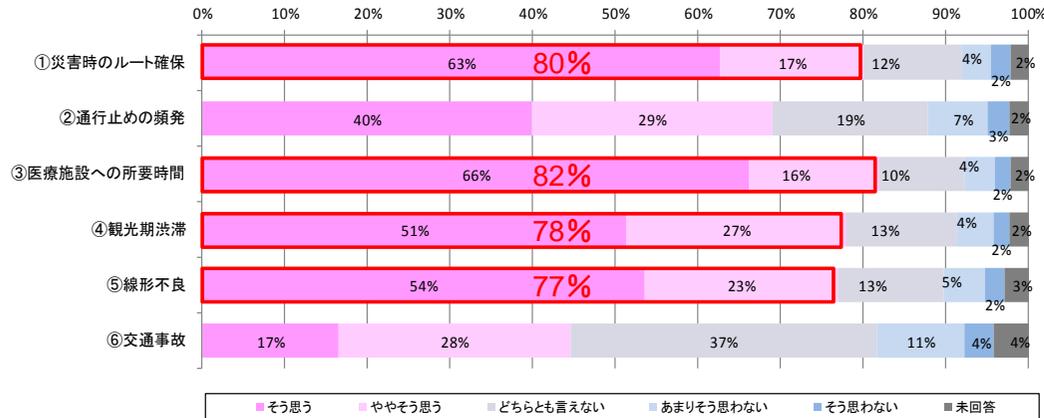
2. 第1回意見聴取の結果

2)道路の課題①

■回答者の約8割の方が「①災害時のルート確保」、「③医療施設への所要時間」、「④観光期渋滞」、「⑤線形不良」を当該区間の道路の課題だと思われる。

全体

Q:天城湯ヶ島～河津間の国道414号には、どのような交通課題があると思いますか？
5段階で評価してください。



- ①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある
- ②大雨や土砂くずれ、倒木による通行止めが多い
- ③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる
- ④観光期の渋滞がひどい
- ⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい
- ⑥交通事故が多い
- ⑦その他(自由回答)

■その他(自由回答)

回答者属性	主な意見
住民／東伊豆町／70歳以上	災害時など賀茂地区の孤立化が心配です。しっかりと迂回路があると良いと思います。
住民／南伊豆町／30代	冬期に一部凍結のため、通行止めになる事があり、病院の予約がある時に困ります。
団体／伊豆市	観光期の渋滞は、周辺の経済にかかわる問題だと思います。
団体／河津町	天城峠の雪や大雨時の通行止めが心配です。
道路利用者／鎌倉市／40代	天城越えは、狭くてカーブも多く難所です。線形が悪い梨本や歩道がない湯ヶ野で交通事故が頻発していると聞きます。観光や業務による自動車交通を、生活道路でもある下田街道から分離するためにも、天城峠道路や河津下田道路が早くできると良いと思います。
道路利用者／船橋市／50代	県外からの不慣れな大型車の通行が多く、また一般車両も高齢者や不慣れな運転が多いため、対向車との接触や無理な追い越しなどに対して、危険性を感じる人が多いです。

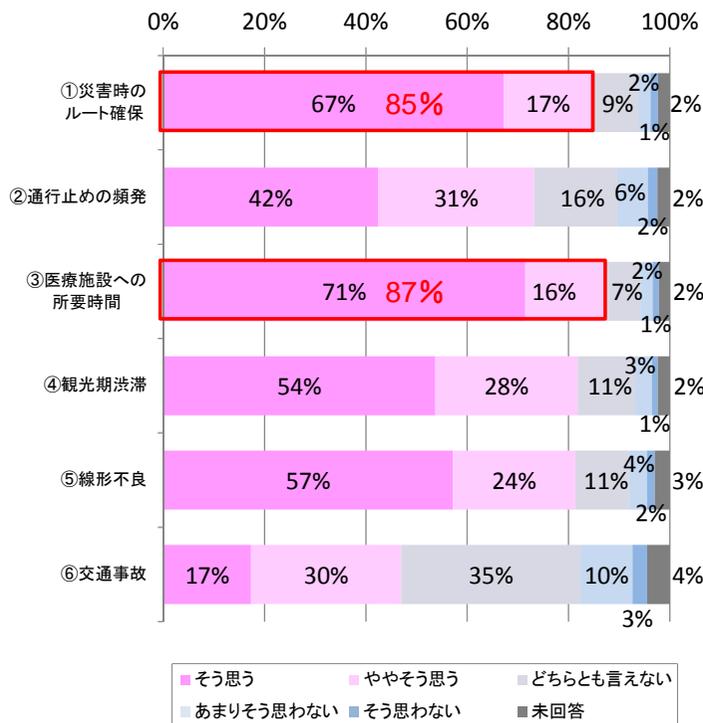
2. 第1回意見聴取の結果

2)道路の課題②

- 住民では、「①災害時のルート確保」、「③医療施設への所要時間」に対する課題認識が特に高い。
- 団体では、「①災害時のルート確保」、「④観光期渋滞」に対する課題認識が特に高い。
- 道路利用者では、「①災害時のルート確保」、「④観光期渋滞」、「⑤線形不良」に対する課題認識が高い。

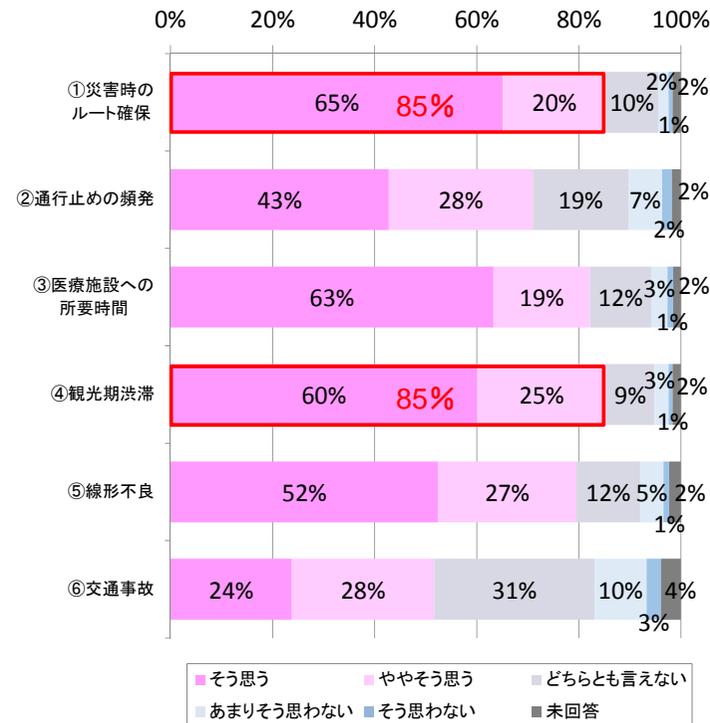
住民

N=12,795



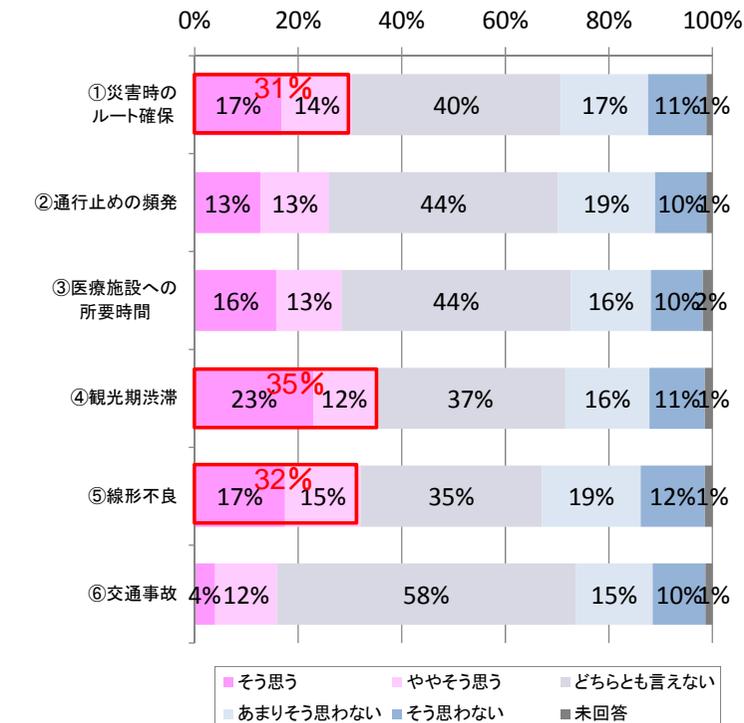
団体

N=786



道路利用者

N=1,282



- ①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある
- ②大雨や土砂くずれ、倒木による通行止めが多い
- ③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる
- ④観光期の渋滞がひどい
- ⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい
- ⑥交通事故が多い
- ⑦その他(自由回答)

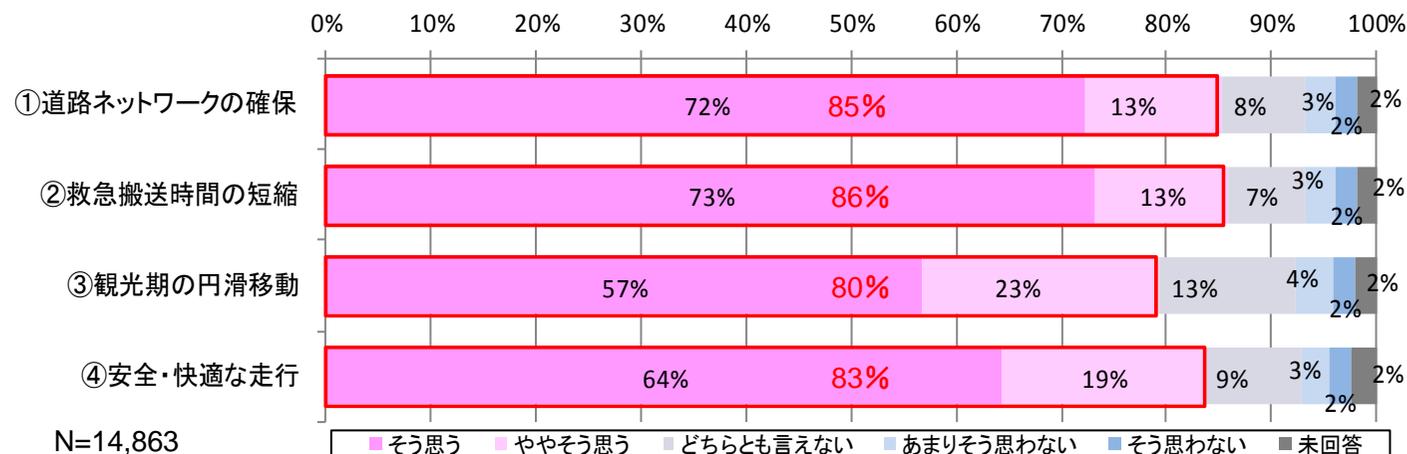
2. 第1回意見聴取の結果

3)道路に求められる機能・役割①

■回答者の約8割の方が、「①道路ネットワークの確保」、「②救急搬送時間の短縮」、「③観光期の円滑移動」、「④安全・快適な走行」を当該区間の道路に求める機能・役割だと思われる。

全体

Q:天城湯ヶ島～河津間の国道414号に求める道路の役割や機能は何ですか？
地域の将来も踏まえ、5段階評価してください。



- ①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ③観光客が円滑に移動できること
- ④安全・快適に走行できること
- ⑤その他(自由回答)

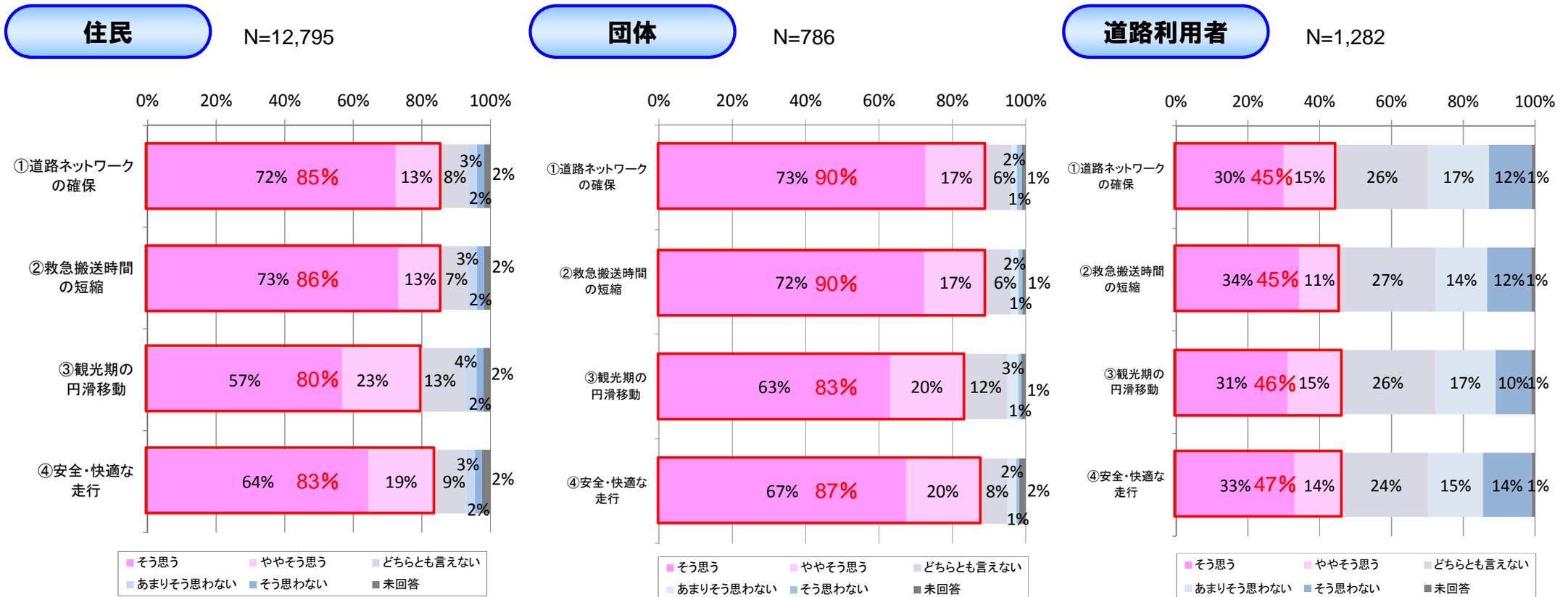
■その他(自由回答)

回答者属性	主な意見
住民／下田市／60代	観光期の渋滞は、買い物に時間がかかり大変。
住民／下田市／50代	移動時間が短縮する事で通勤圏の拡大が期待できます。そのことで若い人たちの他県流出が防げるのではないかと思います。
住民／南伊豆町／50代	企業の誘致に有利になるとともに、観光客の大幅増加が見込めます。
団体／河津町	山道に慣れてない方も安全に走行できる道路を整備してほしいです。
団体／伊豆市	伊豆の南側の地域の活性化につながると思います。
道路利用者／静岡市／50代	観光で行くので、ストレス無く目的地まで行けるのが一番、渋滞が無くなることに期待する。
道路利用者／鎌倉市／40代	お年寄りが増えているため、地域内外を問わず、誰もが安全に走行できる道路ができてほしいです。 人口減少地域のコンパクトシティ化が推進されていますが、天城峠道路ができれば「時間的なコンパクトシティ化」が図られると思います。
道路利用者／船橋市／30代	命の道とも呼ばれている伊豆縦貫自動車道であるため、観光だけではなく、災害や救急医療にとっても非常に重要な道路であると思います。

2. 第1回意見聴取の結果

3)道路に求められる機能・役割②

- 住民、団体においては、全ての道路機能について、約8~9割が重要とされている。
- 道路利用者においては、全ての道路機能について、約5割が重要とされている。



- ①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ③観光客が円滑に移動できること

- ④安全・快適に走行できること
- ⑤その他(自由回答)

2. 第1回意見聴取の結果 4)自由意見

- 安全性の向上、経済効果への期待の他、早期開通を求める声が寄せられている。
- 一方で、観光客の立寄り機会の減少や道路の建設費用を懸念する意見も寄せられている。

分類	回答者属性	主な意見
災害	東伊豆町/40代	・伊豆半島の海岸線は、災害時のがけ崩れや津波で、 道路の寸断が予測されるので、内陸地の道路整備は重要 であると思います。特に 東伊豆町は孤立しやすい と思います。渋滞解消にもつなげてほしいです。
	企業/伊豆市	・大災害も叫ばれている時、 一刻も早く安全確実な道路を造って いただき、安心して生活出来る様になる事を望んでいます。
	道路利用者/甲斐市/60代	・現在でも 道幅がせまく危険な箇所 が多くあり、 災害の際には全く利用できなくなる と想定でき、さらに 流通も完全に停止してしまう ことも考えられるので、その時のために 伊豆を縦断する山間部のルートは確保しておくべき と思います。
医療	下田市/50代	・地域医療の衰退が懸念される伊豆地域にとって 国道414号は命を繋ぐ道 となります。一刻も早い開通を願って止みません。
	下田市/60代	・医療施設への搬送はドクターヘリがあるが、夜間や天候が悪い時にはドクターヘリが飛べないので道路搬送となります。 時間短縮には1日も早く道路整備が必要 です。
	松崎町/60代	・ 3次救急病院への救急搬送や災害発生時の救援物資の搬入や応援の為に も 早期の交通インフラ整備は緊急の課題 です。
観光	伊豆市/60代	・観光道路であるとともに、生活道路であるので、特に 観光シーズンは渋滞が発生し、一般生活に支障をきたしています。渋滞緩和のため早急な道路整備が必要 だと感じます。
	東伊豆町/50代	・沼津から下田間までのアクセスが良くなる分、 人の減少や観光客の日帰化の拍車 等もありえます。
	企業/河津町	・ 河津町の観光にとっても期待 しています。伊豆に多くのお客様に来てほしいです。
(交通安全) 道路	下田市/40代	・ カーブが多く狭い道幅 なので、できるだけ早く カーブが少なく広い安全な道路 にして欲しいです。
	伊豆市/60代	・天城湯ヶ島～河津の区間の現道414号は事故が起きると 迂回路が無く大変 なので、一日も早く道が出来ることを望みます。
	企業/河津町	・天城トンネル付近では冬に積雪が有り、事故多発しているので 早急に開通 してほしいです。
その他	下田市/40代	・今後さらなる 少子高齢化が進む中で伊豆南部は若い世代の人口流出が止まりません 。仕事がある沼津・三島が 通勤可能になれば過疎化の歯止め に一定の効果があると思います。
	伊豆市/40代	・オリンピック競技でもある 自転車 が走りやすい道路であって欲しいです。多くのサイクリストが来るのに道路が走りにくいと評判が悪いです。せつかく注目をあびているので この機会を大切に して欲しいです。
	伊豆市/60代	・天城峠は現在より標高の低い所にトンネルを通すことになるのだろうが、 水脈、温泉への影響を十分に配慮して取り返しのつかないことにならないように して欲しいです。
	伊豆市/30代	・利用する 交通量も少ない ことが想定されるため 必要性を感じません 。
	企業/河津町	・伊豆南部は、どこも 過疎化 に向っており、 莫大な費用を投じて道路を造らなくても良い と思います。
	道路利用者/台東区/20代	・ 地域経済と東京に住む観光客の利便性向上のためにぜひ早期完成 をお願いします。大好きな伊豆に来やすくなるので。

2. 第1回意見聴取の結果 5)ヒアリング①

■災害時の地域孤立への懸念や高速ネットワークが確保されていないことによる、救急搬送時の具体的な影響や課題の他、整備による効果・期待等の意見が寄せられた。

区分(政策目標)		主な意見
災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワーク	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時、国道414号は緊急輸送ルートとして県内外からの支援を受けるための重要な道路であるが、道路が脆弱であるため崖崩れ等の被害により寸断され緊急消防援助隊や自衛隊の進出、救援物資の投入、救急広域搬送に大きな影響を及ぼす。(自衛隊・消防) ・大雪により、国道414号をはじめ国道135号、国道136号、西伊豆スカイラインが通行止め、電車もストップしたことがあり南伊豆、下田地域が陸の孤島化現象になった。(旅館組合・観光協会・日本旅行業協会) ・天城のルートが通行止めになると、静岡方面への出荷便に大きな迂回が必要となる。(漁業組合) ・雨量が多いので、所々道路が崩れている印象がある。また、迂回が必要になると、代替路は道が悪く、大幅に時間がかかる。(山梨県・観光協会) ・道路が寸断されると、伊豆市との協定に定められている食料と飲料水、資材や機材、車両の提供、職員の派遣などができない。(平塚市) ・国道414号は、昭和53年地震で被災し、ループ橋ができる昭和56年まで約40ヶ月間通行止めになった過去がある。その際は、国道135号に迂回していた。(河津町) ・平成26年2月上旬の大雪でも通行止めになったが、豪雨や大雨で国道414号が通行止めになると、伊東市まで戻ることになるので、1時間以上の迂回になる。(河津町・商工会)
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・被災時の伊豆南部の孤立回避。(消防・警察) ・大規模災害時、緊急援助隊のスムーズな流入対応可能。(消防) ・海岸線道路が脆弱なため、災害時に通行止めになった際に伊豆半島は孤立するが、伊豆縦貫自動車道開通で、災害時輸送道路としての効果は大きい。(消防・道の駅・自衛隊) ・災害時に孤立すると特に人工透析患者への対応が不安であるため、災害時の代替路が必要である。(病院) ・相模トラフ、南海トラフ、首都直下地震などの地震に対して伊豆市や静岡市などと相互支援をおこなう際に迅速な応援をいただいたり、駆けつけたりすることが可能。(平塚市)
救急医療施設等への速達性・確実性の向上	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・管轄外医療機関への救急搬送に長時間を要するため、一刻を争う傷病者への精神的な負担と症状悪化のリスクが高まる。(消防) ・急カーブ、急勾配が多く、揺れや振動により傷病者、同乗者への身体的負担が高まる。(消防) ・輸血が必要な際には、血液センター(沼津市原)から血液を搬送するが、通行止め等の場合は、こちらから途中まで受け取りに行くこともある。(病院) ・第三次救急医療施設へ搬送する際、医者を救急車に乗せていく場合があるが、医者が病院に半日帰って来られなくなる。(病院) ・伊豆圏域からの搬送は主にドクターヘリを用いるが、夜間・雨天時等は使用できない。(病院)
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・一刻を争う傷病者、救急隊員の身体的負担の軽減と地域住民が高度な医療を早く受けられる機会の増加。(消防) ・救急医療過疎地の解消。(病院) ・救急搬送の時間短縮で、救える命が増える。(警察・病院・観光協会・伊豆市他) ・伊豆縦貫自動車道ができれば、伊豆半島の災害、医療、観光、事故面のすべての課題が大幅に改善されると思う。(山梨県) ・下田周辺には救急搬送可能な大病院がないため、順天堂大付属病院や沼津市立病院への搬送時間が短くなることが期待される(下田市) ・下田経由で沼津まで1時間で行くことが可能になる。医療面から見ると、30分短縮するだけでも生存率に好影響を与える。(松崎町)

2. 第1回意見聴取の結果 5)ヒアリング②

■高速ネットワークが整備されていないことによる産業や観光に関する具体的な課題、線形不良や幅員狭小による道路の安全性に対する不安や課題の他、整備による効果・期待等の意見が寄せられた。

区分(政策目標)	主な意見
高速ネットワークの確保による観光振興の支援	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 河津桜ツアーに関連するツアーは、周辺のイチゴ狩りや雛のつるし飾りまつりが組まれているが、渋滞によって桜以外の行程がキャンセルされることがある。(旅館組合) 冬場の積雪の際、松崎に来た観光客の帰宅ルートがない。(道の駅) 通過交通と観光の交通のすみ分けが必要。(静岡県) 河津桜のシーズンには浄蓮の滝から月ヶ瀬地区、国道136号との合流まで渋滞する。(伊豆市) <p>機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車移動の時間が読めると、「観光ツアーに組みやすい」「産業が進展しやすい」「人口が張り付きやすい」等のメリットがある。(山梨県・観光協会) 所要時間が短縮されることにより、新たな周遊ルートが設定できる。(観光協会・全国旅行業協会) 圏央道や新東名等の高速道路ができた修善寺あたりまでは、観光客が増加しているので下田でも観光客の増加を期待する。(旅館組合) 伊豆縦貫自動車道の開通により下田が活性化すれば、西伊豆を含めた伊豆全体も活性化すると考える。観光できる時間が増加することにより、立ち寄り箇所が増える。(日本旅行業協会) 観光客の増加(日帰り・宿泊)、観光消費の増加。(商工会・山梨県・自治体・多種団体) 伊豆半島のイメージ、ブランド向上。(伊豆市・静岡県) 観光客の増加だけでなく、伊豆圏域の人事交流が盛んになる。また、鉄道ではアクセスの悪い西伊豆にも観光客が増加することにより、沼津市内への立ち寄りの増加(西伊豆等を周遊するツアーの増加)が期待できる。(沼津市)
交通の安全性・快適性の確保	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅員も狭く急勾配、急カーブで落石の危険性も高く、対向車の通行を考慮すると緊急車両の走行ルートとして選択ができない。(消防) 天城峠付近の道路勾配やカーブの曲率がきつく、スピードが出せない。冬季は、雪・凍結により通行が困難。(病院、観光協会、渋谷区) 夏と河津桜の時期は混雑するので、物流関係の時間が読めない。(商工会) ゴールデンウィーク、夏季、正月、河津桜の季節は、渋滞が発生する。(旅館組合) 漁港からの輸送で、国道414号を利用するにあたって、道幅が狭く急勾配、カーブが多い。大型車にとって通行が大変厳しく、危険である。(旅館組合) 時間には余裕をもって運搬しているが、急ぐと揺れにより、品物が傷み、商品価値が下がり、クレームにつながるため、時間に余裕を持たせて、運搬できるルートを確保するようにしている。(農協) わさび苗の期間は、9月から翌年7月なので、特に冬季に積雪や凍結があると運転が困難。(山葵組合) 幅員狭小、線形不良(ループ橋など)介在。(静岡県) 年に数回事故が発生している。最近では、河津町で死亡事故、9月には湯ヶ島で正面衝突事故により渋滞が発生した。(静岡県) <p>機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光期の交通事故の減少による円滑な交通の確保。南北軸の複数化(現414号、伊豆縦貫道)による、通行車両の分散化と交通の円滑化。(警察) 輸送時間が短くなることにより、鮮度UPや、出荷先の拡大などといったその先のアプローチも可能になるので、予定通り到着できるような道路を作ってほしい。(漁業組合) 揺れによる農作物の傷み等により損失が減るとともに、農業資材や肥料の運搬コスト等も押さえられると思う。(農協) 大型車が伊豆縦貫自動車道に転換すれば現道414号の交通量は減少する。舗装の長寿命化に繋がる。(静岡県)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆半島の背骨となる伊豆縦貫自動車道だけではなく、肋骨道路(アクセス道路)の整備が必要。(病院、商工会、観光協会、各地方公共団体) トンネルを通す場合、水脈や温泉への影響を回避してほしい。(旅館組合) 道路が出来たことにより、大型ショッピング店などが設置され、グルメ街道など産業が廃れてしまう恐れがある。地元民が衰退していく。(旅館組合) 東名高速と直結すると、観光客が下田に直行してしまう懸念もある。(熱海市)

2. 第1回意見聴取の結果 6)まとめ

道路の課題

全回答者の約8割が

- ・ 地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある。
- ・ 高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる。
- ・ 観光期の渋滞がひどい。
- ・ 急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く走りづらい。

と回答している。

【自由意見・ヒアリング】

- ・ 道幅がせまく危険な箇所が多くあり、災害の際には全く利用できなくなると思う。(道路利用者)
- ・ 管轄外医療機関への救急搬送に長時間を要するため、一刻を争う傷患者への精神的な負担と症状悪化のリスクが高まる。(消防)
- ・ 観光道路であり、生活道路であるので、特に観光シーズンは渋滞が発生し、一般生活に支障をきたしている。(住民)
- ・ 天城峠付近の道路勾配やカーブの曲率がきつく、スピードが出せない。冬季は、雪・凍結により通行が困難。(病院・観光協会・渋谷区)

道路に求められる機能・役割

全回答者の8割以上が

- ・ 災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ・ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ・ 観光客が円滑に移動できること
- ・ 安全・快適に走行できること

が必要と回答している。

【自由意見・ヒアリング】

- ・ 相模トラフ、南海トラフ、首都直下地震などの地震の際に、自治体間の相互支援を迅速に行うことができるようになると思う。(自治体)
- ・ 国道414号は「命の道」となるので、一刻も早い開通を願っている。(住民)
- ・ 観光活性化にとっても期待しています。伊豆に多くのお客様に来てほしいです。(企業)
- ・ 揺れによる農作物の傷み等により損失が減るとともに、農業資材や肥料の運搬コスト等も押さえられると思う。(農協)

その他

- ・ 伊豆半島の背骨となる伊豆縦貫自動車道だけではなく、肋骨道路(アクセス道路)の整備が必要。(病院、商工会、観光協会、各地方公共団体)
- ・ トンネルを通す場合、水脈や温泉への影響を回避してほしい。(旅館組合)

まとめ

【意見聴取において確認された道路の機能・役割】

1. 災害時の安全・確実な道路ネットワークの確保
2. 短時間の救急病院への安全な移動や広域的な救急搬送
3. 観光交流の促進・快適な走行の確保

【政策目標】

災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保
救急医療施設等への速達性・確実性の向上
高速ネットワークの確保による観光振興の支援

3. 対応方針の検討

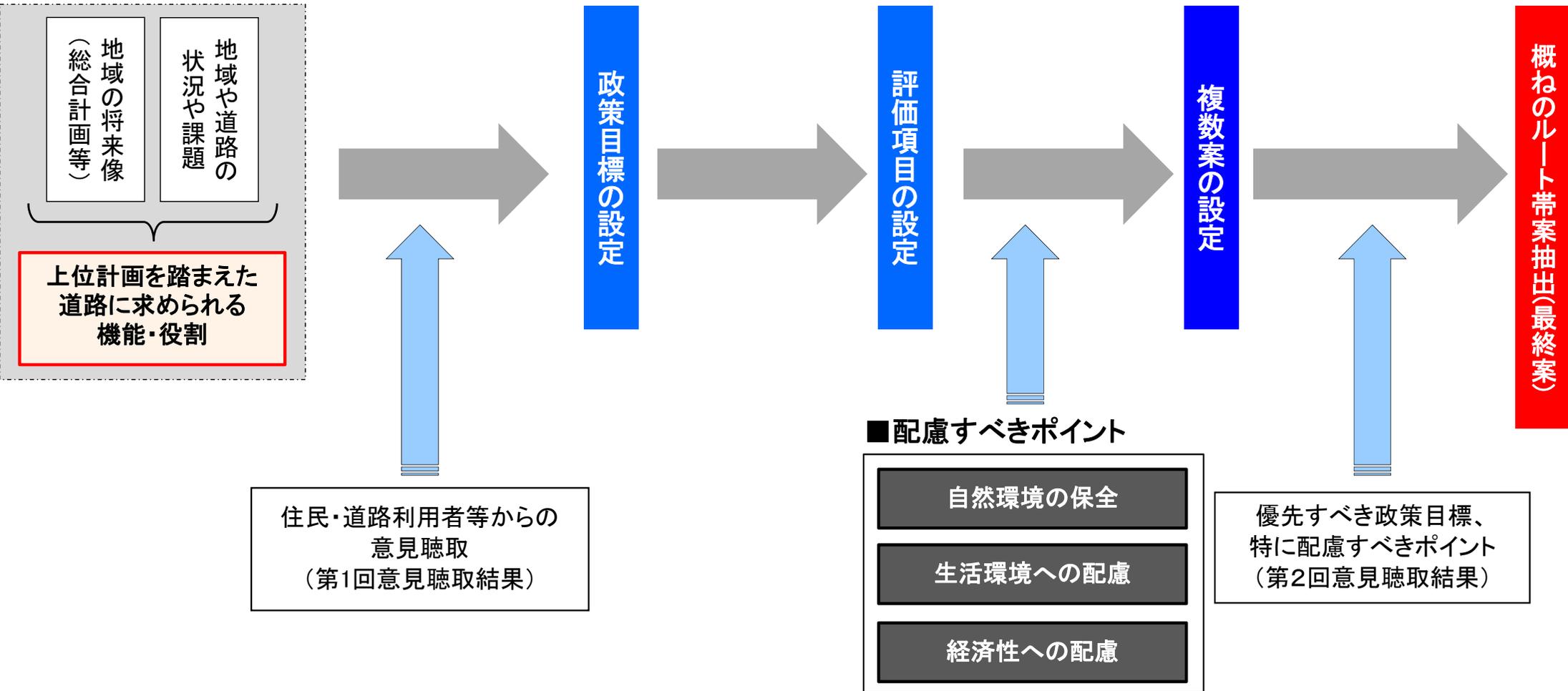
3. 対応方針の検討

1) 概ねのルート帯案抽出までの流れ

- 今回の議論対象
- 政策目標の設定
 - 評価項目の設定
 - 複数案の設定

将来像との整合

政策目標を達成するために
考えられる対策案



3. 対応方針の検討

2) 対策案の立案までの流れ

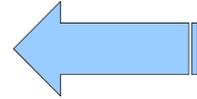
将来像を踏まえた道路に求められる機能・役割と政策目標

【政策目標】

- 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 救急医療施設等への速達性・確実性の向上
- 高速ネットワークの確保による観光振興の支援

【意見聴取して確認された道路の機能・役割】

- 災害時の安全・確実な道路ネットワークの確保
- 短時間の救急病院への移動や広域的な救急搬送
- 観光交流の促進・快適な走行の確保



※政策目標の策定にあたっては、住民、団体、道路利用者等からの意見を反映し決定

政策目標を達成するために考えられる対策案

《配慮すべきポイント》

自然環境の保全、生活環境への配慮、経済性への配慮

【案①】

西側ルート

【案②】

東側ルート

【案③】

現道活用＋西側ルート

3. 対応方針の検討

3) 評価項目

■「政策目標」に対する評価

政策目標	評価項目	
災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害	<ul style="list-style-type: none"> ・事前通行規制区間の回避 ・危険物積載車両の通行を担保
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・現道(国道414号)の代替路として機能
救急医療施設等への速達性・確実性の確保	医療	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療施設等への速達性・確実性の向上 ・急カーブ箇所の解消
高速道路ネットワークの確保による観光振興の支援	観光産業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設へのアクセス向上 ・速達性の向上

■「配慮すべきポイント」に対する評価

配慮すべきポイント	評価項目	
自然環境の保全	温泉	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉・滝・川・ワサビ等、水資源への影響に配慮
	景観	<ul style="list-style-type: none"> ・富士箱根伊豆国立公園地域の環境改変に配慮
生活環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・集落内及び近傍通過による支障を回避 ・工事期間における生活道路への影響に配慮 	
経済性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・土工を基本とする ・トンネル部は温泉や地下水への影響を回避 	

3. 対応方針の検討 4)コントロールポイント

■ルート帯を検討する上での主にコントロールポイントとして、集落や観光施設、温泉、火山等を設定。

	社会状況による要因	自然的状況による要因
起終点:	●●●●	・わさび田 : ●●●●
国道 :	—	・温泉源 : ▲
主要地方道・県道:	—	・火山、火口 : ●
	・集落・市街地: ●	
	・公共施設: ●	
	・観光施設: ●	



涵養源: 地下水の供給元
 遮断層: 地下水の流れを遮断している層(地下水の流出を防ぐ働きをする)

3. 対応方針の検討 5) ルート帯案の概要

■ 天城北道路(天城湯ヶ島IC)と河津下田道路(河津IC)を繋ぐ、設計速度80km/hの自動車専用道路。

ただし、現道を活用する区間については、設計速度60km/hに設定。

■ 温泉は地域において重要な資源であり地域において配慮の意見があるため、温泉地下水の涵養源から温泉地への水の流れを遮断せず、災害に備え事前通行規制区間を回避。

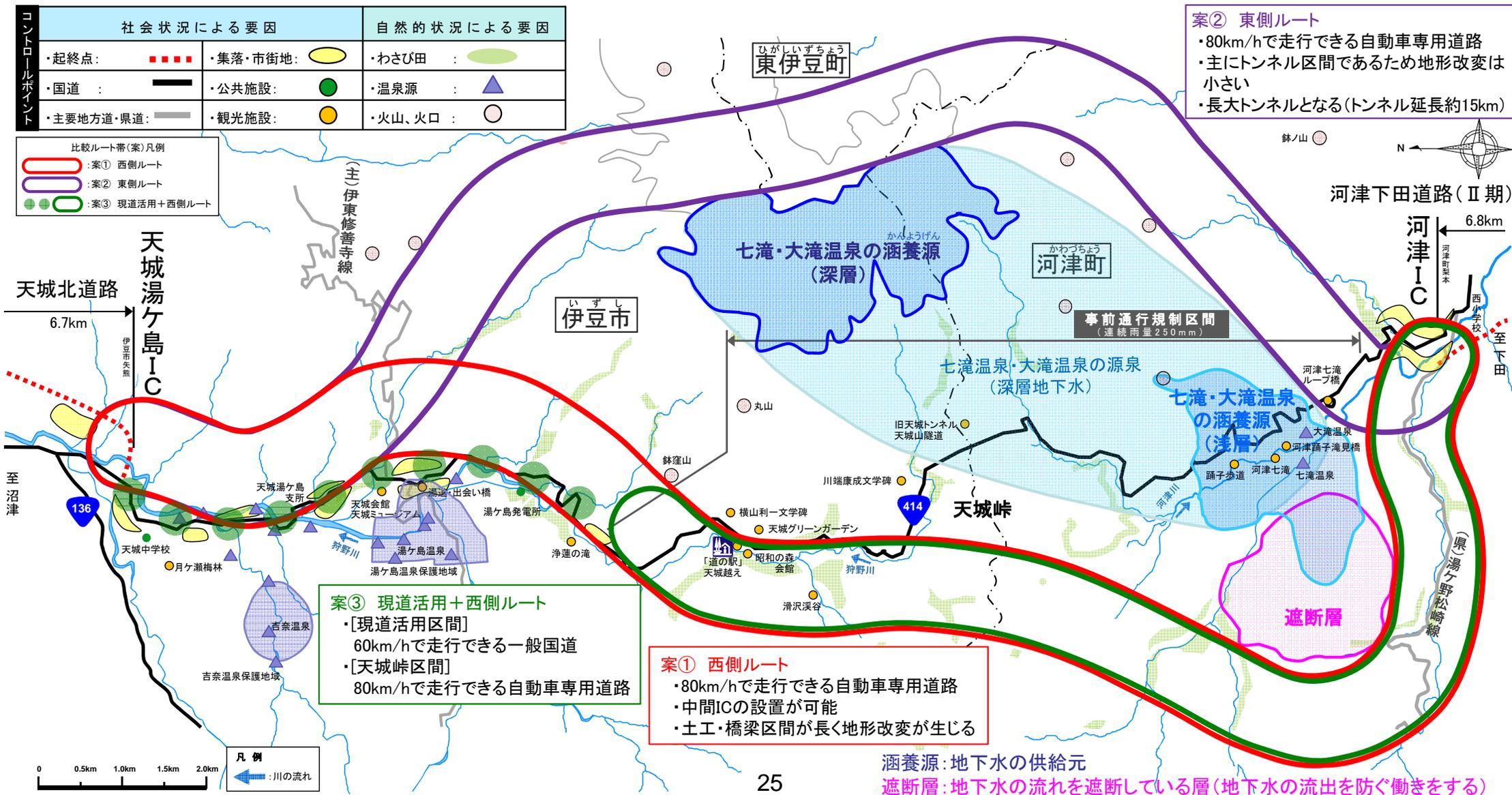
社会状況による要因		自然的状況による要因	
・起終点: ■■■■	・集落・市街地: 	・わさび田: 	・温泉源: ▲
・国道: 	・公共施設: ●	・温泉源: ▲	・火山、火口:
・主要地方道・県道: 	・観光施設: ●	・火山、火口: 	

比較ルート帯(案)凡例
 : 案① 西側ルート
 : 案② 東側ルート
 : 案③ 現道活用+西側ルート

案② 東側ルート
 ・80km/hで走行できる自動車専用道路
 ・主にトンネル区間であるため地形改変は小さい
 ・長大トンネルとなる(トンネル延長約15km)

案③ 現道活用+西側ルート
 ・[現道活用区間]
 60km/hで走行できる一般国道
 ・[天城峠区間]
 80km/hで走行できる自動車専用道路

案① 西側ルート
 ・80km/hで走行できる自動車専用道路
 ・中間ICの設置が可能
 ・土工・橋梁区間が長く地形改変が生じる



涵養源: 地下水の供給元
 遮断層: 地下水の流れを遮断している層(地下水の流出を防ぐ働きをする)

3. 対応方針の検討 6) ルート帯案の概要【案①:西側ルート】

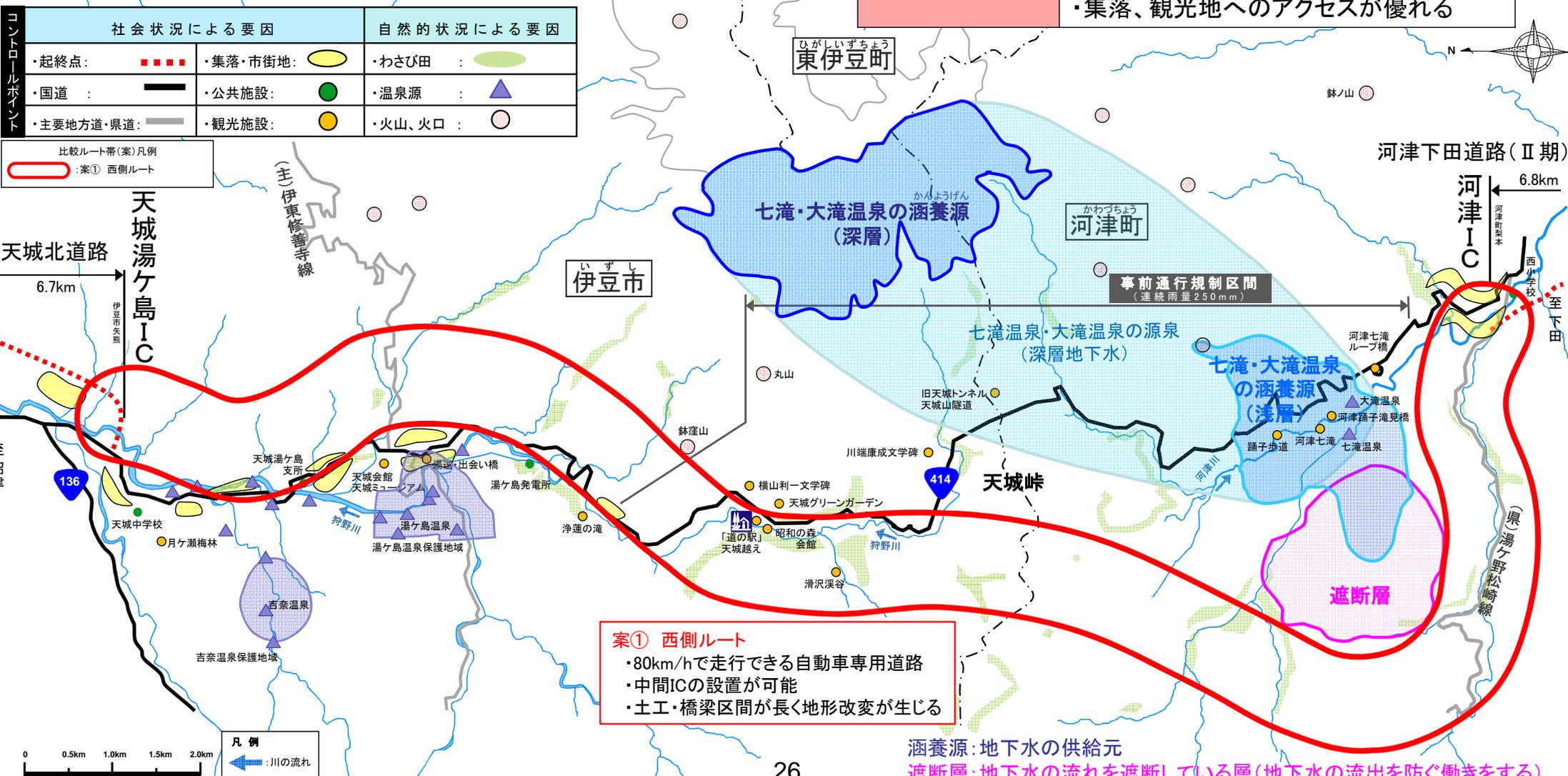
■水資源への影響を回避し、全線で新しく自動車専用道路を整備する案。

■整備概要

延長	約20km
構造	サービス速度80km/h(自動車専用道路)
コスト	約1,300~1,500億円

■ポイント

内容	<ul style="list-style-type: none"> 全線で新たな自動車専用道路を整備し、水資源への影響を西側にて回避するルート 集落、観光地へのアクセスが優れる
----	---



涵養源: 地下水の供給元
 遮断層: 地下水の流れを遮断している層(地下水の流出を防ぐ働きをする)

3. 対応方針の検討

6) ルート帯案の概要【案②: 東側ルート】

■ 水資源への影響を東側に回避し、全線で新しく自動車専用道路を長大トンネルで整備する案。

■ 整備概要

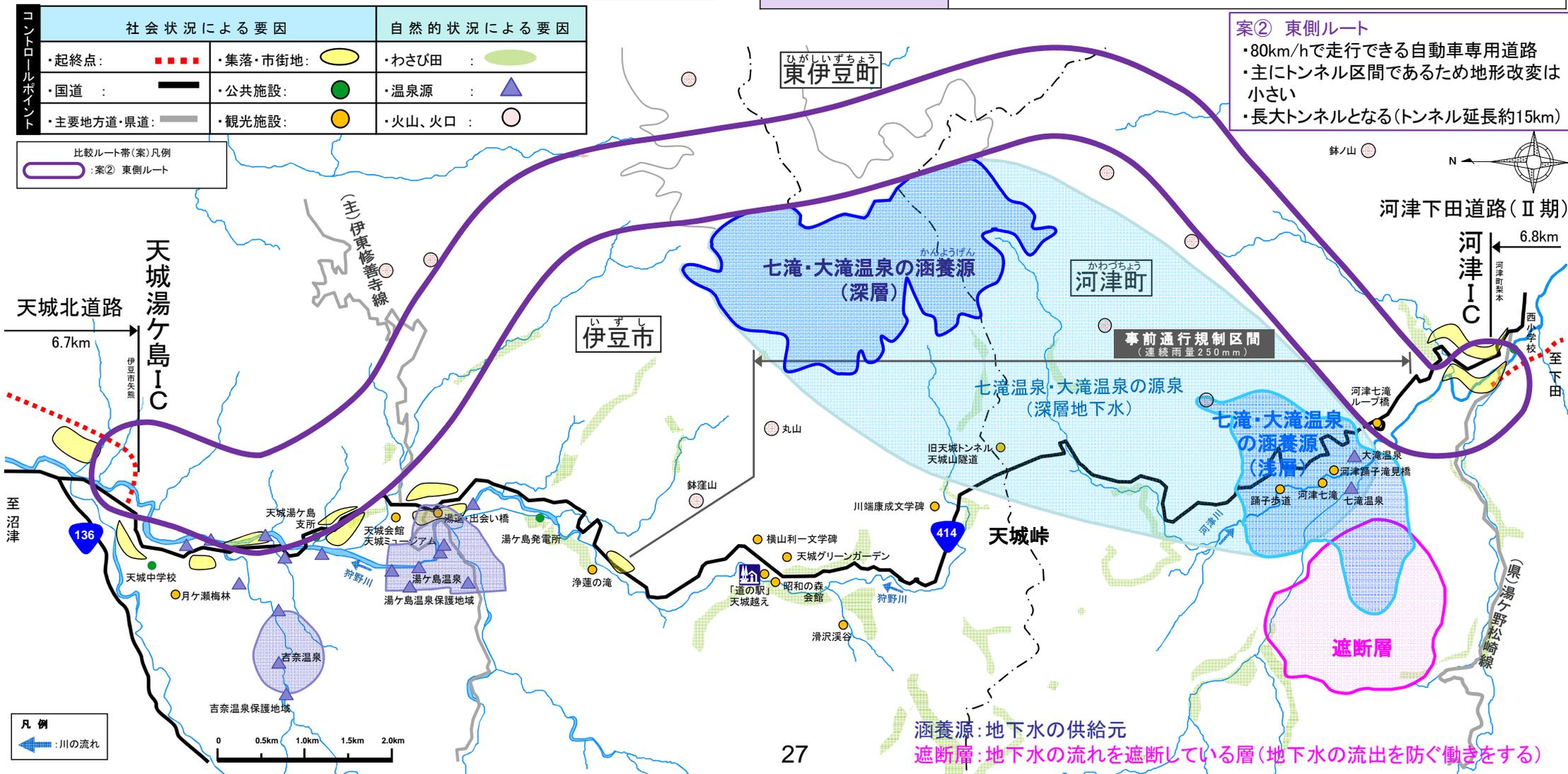
延長	約20km
構造	サービス速度80km/h(自動車専用道路)
コスト	約1,400~1,600億円

■ ポイント

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全線で新たな自動車専用道路を整備し、水資源への影響を東側にて回避するルート ・長大トンネルが必要となり、危険物積載車両が通行不可 ・集落へのアクセスが不良
----	--

社会状況による要因	自然的状況による要因
・起終点: ■■■■ ・国道: ・主要地方道・県道: 	・集落・市街地: ・公共施設: ・観光施設:
	・わさび田: ・温泉源: ▲ ・火山、火口:

比較ルート帯(案)凡例
 : 案② 東側ルート



案② 東側ルート

- ・80km/hで走行できる自動車専用道路
- ・主にトンネル区間であるため地形改変は小さい
- ・長大トンネルとなる(トンネル延長約15km)

涵養源: 地下水の供給元
 遮断層: 地下水の流れを遮断している層(地下水の流出を防ぐ働きをする)

3. 対応方針の検討 6) ルート帯案の概要【案③: 現道活用+西側ルート】

■北側は現道改良し、南側は水資源への影響を回避し、新しく自動車専用道路を整備する案。

■整備概要

延長	約20km
構造	サービス速度60km/h(現道活用区間) サービス速度80km/h(自動車専用道路)
コスト	約1,100~1,300億円

■ポイント

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国道414号において、幅員不足、線形不良部分を一部改良、又は現道付近を通過する別線ルートで整備 ・河津町側の区間は、新たな自動車専用道路を整備し、水資源への影響を西側にて回避するルート
----	--

社会状況による要因		自然的状況による要因	
・起終点:	・集落・市街地:	・わさび田:	
・国道:	・公共施設:	・温泉源:	
・主要地方道・県道:	・観光施設:	・火山、火口:	

比較ルート帯(案)凡例
 : 案③ 現道活用+西側ルート



案③ 現道活用+西側ルート

- ・[現道活用区間]
60km/hで走行できる一般国道
- ・[天城峠区間]
80km/hで走行できる自動車専用道路

涵養源: 地下水の供給元
 遮断層: 地下水の流れを遮断している層(地下水の流出を防ぐ働きをする)

3. 対応方針の検討 7)ルート帯案の比較・評価

評価項目		案①:西側ルート	案②:東側ルート	案③:現道活用+西側ルート	
ルート帯概要	概要	80km/hで走行できる自動車専用道路	80km/hで走行できる自動車専用道路	現道を活用しながら60km/hで走行できる一般道路+80km/hで走行できる自動車専用道路	
	延長	約20km	約20km	約20km	
「政策目標」に対する評価	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 危険物積載車両制限なし	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 長大トンネルで危険物積載車両制限がある 危険物積載車両制限なし	
		防災	現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	現道活用区間では、現道国道414号の代替路が確保されない
	救急医療施設等への速達性、確実性の確保	医療	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	案①、案②に比べて救急医療施設等への速達性、確実性に劣る
		安全性	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される
	高速ネットワークの確保による観光振興の支援	観光産業	浄蓮の滝等の観光施設にアクセスしやすい	案①に比べて浄蓮の滝等の観光施設にアクセスしにくい	浄蓮の滝等の観光施設にアクセスしやすい
		速達性	自動車専用道路であるため速達性に優れる	自動車専用道路であるため速達性に優れる	案①、案②に比べて、速達性に劣る
	「配慮すべきポイント」に対する評価	自然環境の保全	温泉	温泉影響範囲を回避しているため影響がない	温泉影響範囲を回避しているため影響がない
			景観	案②に比べて地形改変が大きい	トンネル区間がほとんどであり地形改変が小さい
生活環境への配慮		集落への影響が小さい	集落への影響が小さい	案①、案②に比べて、現道活用区間において、集落への影響が大きい	
経済性への配慮		約1,300~1,500億円	約1,400~1,600億円	約1,100~1,300億円	

4. 第2回意見聴取の方法

4. 意見聴取方法 1)意見聴取の方法と対象者

■伊豆地域全域の地方公共団体や沿線・周辺地域の住民、各種団体、道路利用者などから、対策案（ルート帯案）に関する意見聴取を実施。



調査項目	対象
①住民アンケート(7市町約48,384世帯+HP掲載)	下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
②道路利用者アンケート (道の駅、SA+WEBアンケート+HP掲載)	道の駅：花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くらら戸田、富士、富士川楽座、ふじおやま、すばしり、箱根峠、 高速道路SA：新東名 駿河湾沼津SA(上り線)、東名 足柄SA(下り線)、 Webアンケート：伊豆半島への来訪経験のある方(免許所有者)
③沿線地域アンケート(約2,091団体)	商工会会員、観光協会会員、温泉旅館組合会員、静岡県トラック協会会員、静岡県バス協会会員、静岡県タクシー協会会員
④地方公共団体ヒアリング (7都県、16市町)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県(土木事務所、振興局等含む)、愛知県、沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町
⑤沿線・周辺地域ヒアリング(44団体)	消防署、警察署、医療機関、商工会、観光協会、温泉旅館組合、漁業協同組合、農業協同組合、わさび組合、「道の駅」代表
⑥その他地域ヒアリング(8団体)	自衛隊、箱根町観光協会、熱海市観光協会、中部圏・首都圏の全国旅行業協会・日本旅行業協会、沿線地域と相互支援協定を締結している地方公共団体

4. 意見聴取方法

2)意見聴取の調査項目と活用方針

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの質問項目	ヒアリング結果の活用	備考
行政や業界への意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・課題、政策目標、道路整備の必要性に関し、行政や業界への意見聴取を行う。 ・行政又は業界との認識の整合性の確認をする。 	共通

■アンケート結果の活用方針

アンケートの実施項目	アンケート回答結果の活用	備考
現況の問題点・解決すべき課題	国道414号の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。	第1回
政策目標	道路を計画するにあたって、回答者の考える政策目標及びその優先度について把握する。	
その他の自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯案(複数案)に対する意見	ルート帯選定にあたり、回答者が重要視する観点を把握する。	第2回
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する	共通

■計画概要

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画に関する第2回アンケート

本アンケートは、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、皆さまの生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆さまのご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。
 本アンケートは全2回行い、2回目となる本調査では、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)について、対策案(ルート案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項について、ご意見を伺いたく、前回に引き続きご協力をお願いいたします。
 回答いただいた内容は、国土交通省沼津河川国道事務所で集計を行います。

■伊豆縦貫自動車道は、延長約60kmの高規格幹線道路です。

・伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島の骨格を形成し、地域の「命の道」となる延長約60kmの高規格幹線道路です。
 ・伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)は、天城北道路と河津下田道路の間に位置する道路です。

■このアンケートの対象は、天城湯ヶ島～河津の区間です。



お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
 沼津河川国道事務所 調査第二課

〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2
 電話：055-934-2010(直通)
 受付時間：月曜日～金曜日(土日祝祭日を除く)9:00～17:00
 ホームページ：http://www.cbr.mit.go.jp/numazu/

■伊豆地域(天城湯ヶ島～河津)の状況と課題

伊豆地域(天城湯ヶ島～河津)の状況と課題

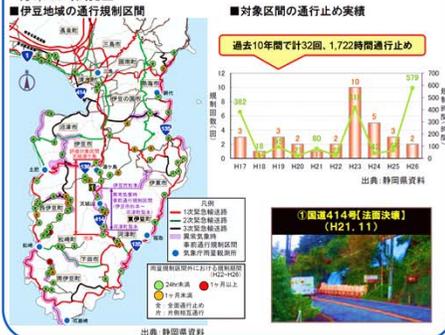
南海トラフ巨大地震への備えが不十分

- 伊豆地域沿岸部では、高確率で発生が想定されている南海トラフ巨大地震等の津波(推定津波高さ5～33m)により浸水が想定
- 内陸部の国道414号では、緊急輸送が可能なレベルの復旧に1週間以上を要する



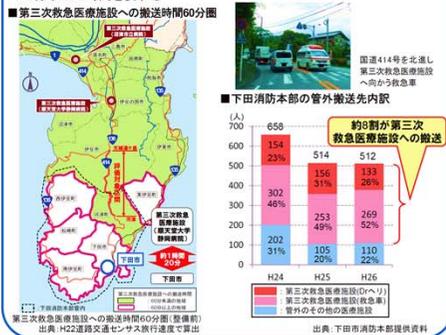
大雨や土砂くずれによる通行止めが頻発

- 伊豆地域の緊急輸送路には異常気象時事前通行規制区間(連続雨量・積雪)が存在
- 国道414号では大雨や土砂くずれ・倒木による通行止めが過去10年で計32回約1,700時間発生



高度医療施設への搬送に長時間を要する

- 伊豆地域南部には第三次救急医療施設が無いため、下田消防本部の管外搬送のうち約8割が伊豆地域北部の第三次救急医療施設への搬送
- 伊豆地域南部から伊豆地域北部の第三次救急医療施設への救急搬送には、60分以上の時間を要する



伊豆地域南部の観光産業が停滞

- 伊豆地域の交通網は、鉄道網が限定的で長距離バス網も乏しいため、観光時の移動手段の約8割は自動車を利用
- 観光期の交通集中により、主要な路線において著しい渋滞が発生
- 伊豆地域の観光交流客数は、北部は増加傾向にあるものの、南部は近年減少傾向



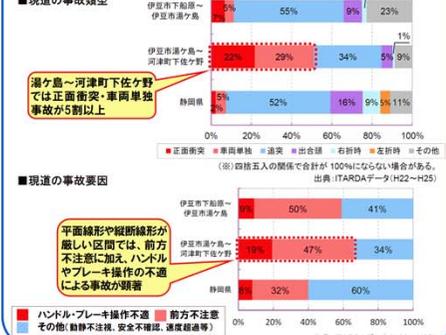
カーブや急な坂で走りづらい道路

- 国道414号には、平面および縦断の線形不良区間や幅員不足区間が多く走行性に課題
- 特に、河津町内には顕著な速度低下を生じさせる河津七滝ループ橋(R=40m)やヘアピンカーブ(R=25m)が存在



重大な交通事故が多発

- 線形不良区間が連続する伊豆市湯ヶ島～河津町下佐ヶ野間は、死亡・重大事故に直結しやすい「正面衝突」や「車間単独」事故の比率が高い



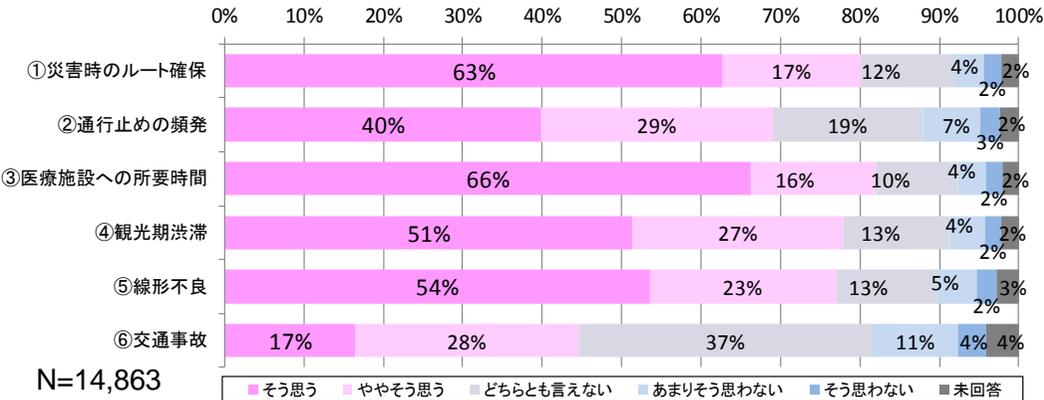
4. 意見聴取方法

3)第2回アンケート案(第1回意見聴取の集計結果)

■第1回のアンケートの質問事項である「道路の課題」、「道路に求められる機能・役割」について集計結果を説明するとともに、行政や業界に行ったヒアリング結果も説明。

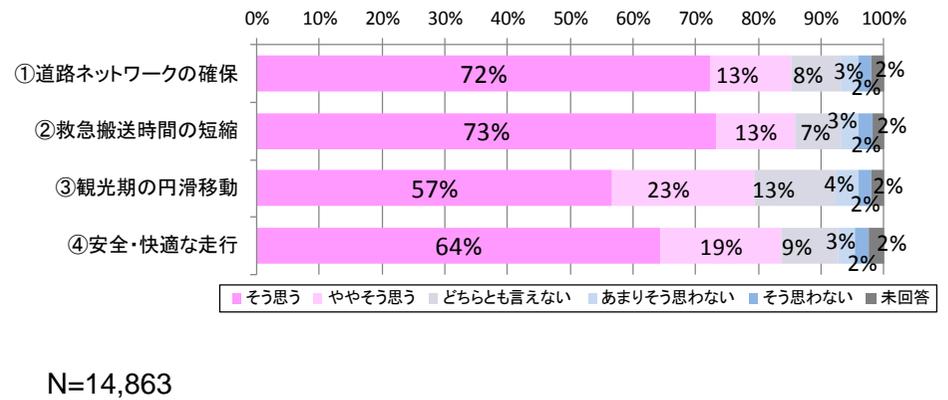
■アンケート結果

1. 天城湯ケ島～河津間の国道414号の課題について



- ①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある
- ②大雨や土砂くずれ、倒木による通行止めが多い
- ③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる
- ④観光期の渋滞がひどい
- ⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい
- ⑥交通事故が多い
- ⑦その他(自由回答)

2. 天城湯ケ島～河津間の国道414号に求められる機能・役割について



- ①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ③観光客が円滑に移動できること
- ④安全・快適に走行できること
- ⑤その他(自由回答)

■ヒアリング結果

<道路の課題>

- ・災害発生時、国道414号は緊急輸送ルートとして県内外からの支援を受けるための重要な道路であるが、**道路が脆弱であるため崖崩れ等の被害により寸断され緊急救助隊や自衛隊の進出、救援物資の投入、救急広域搬送に大きな影響**を及ぼす。(自衛隊・消防)
- ・管轄外医療機関への**救急搬送に長時間を要するため、一刻を争う傷病者への精神的負担と症状悪化のリスクが高まる**。(消防)
- ・河津桜ツアーに関連するツアーは、周辺のイチゴ狩りや雛のつり飾りまつりが組まれているが、**渋滞によって桜以外の行程がキャンセル**されることがある。(旅館組合)
- ・天城峠付近の**道路勾配やカーブの曲率がきつく、スピードが出せない**。冬季は、**雪・凍結により通行が困難**。(病院・観光協会・渋谷区)

<道路に求められる機能・役割>

- ・相模トラフ、南海トラフ、首都直下地震などの**地震の際に、自治体間の相互支援を迅速に行うことができる**ようになると思う。(自治体)
- ・救急搬送の**時間短縮で、救える命が増える**。(警察・病院・観光協会・伊豆市他)
- ・自動車移動の時間が読めると、「**観光ツアーに組みやすい**」「**産業が進展しやすい**」「**人口が張り付きやすい**」等のメリットがある。(山梨県・観光協会)
- ・**揺れによる農作物の傷み等により損失が減るとともに、農業資材や肥料の運搬コスト等も押さえられる**と思う。(農協)

4. 意見聴取方法 3)第2回アンケート案(対策案の立案までの流れ)

■将来像や意見聴取結果等を踏まえた、政策目標を達成する対策案の立案までの流れ。

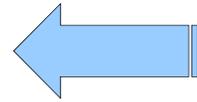
将来像を踏まえた道路に求められる機能・役割と政策目標

【政策目標】

- 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 救急医療施設等への速達性・確実性の向上
- 高速ネットワークの確保による観光振興の支援

【意見聴取して確認された道路の機能・役割】

- 災害時の安全・確実な道路ネットワークの確保
- 短時間の救急病院への移動や広域的な救急搬送
- 観光交流の促進・快適な走行の確保



※政策目標の策定にあたっては、住民、団体、道路利用者等からの意見を反映し決定

政策目標を達成するために考えられる対策案

《配慮すべきポイント》
自然環境の保全、生活環境への配慮、経済性への配慮

【案①】

西側ルート

【案②】

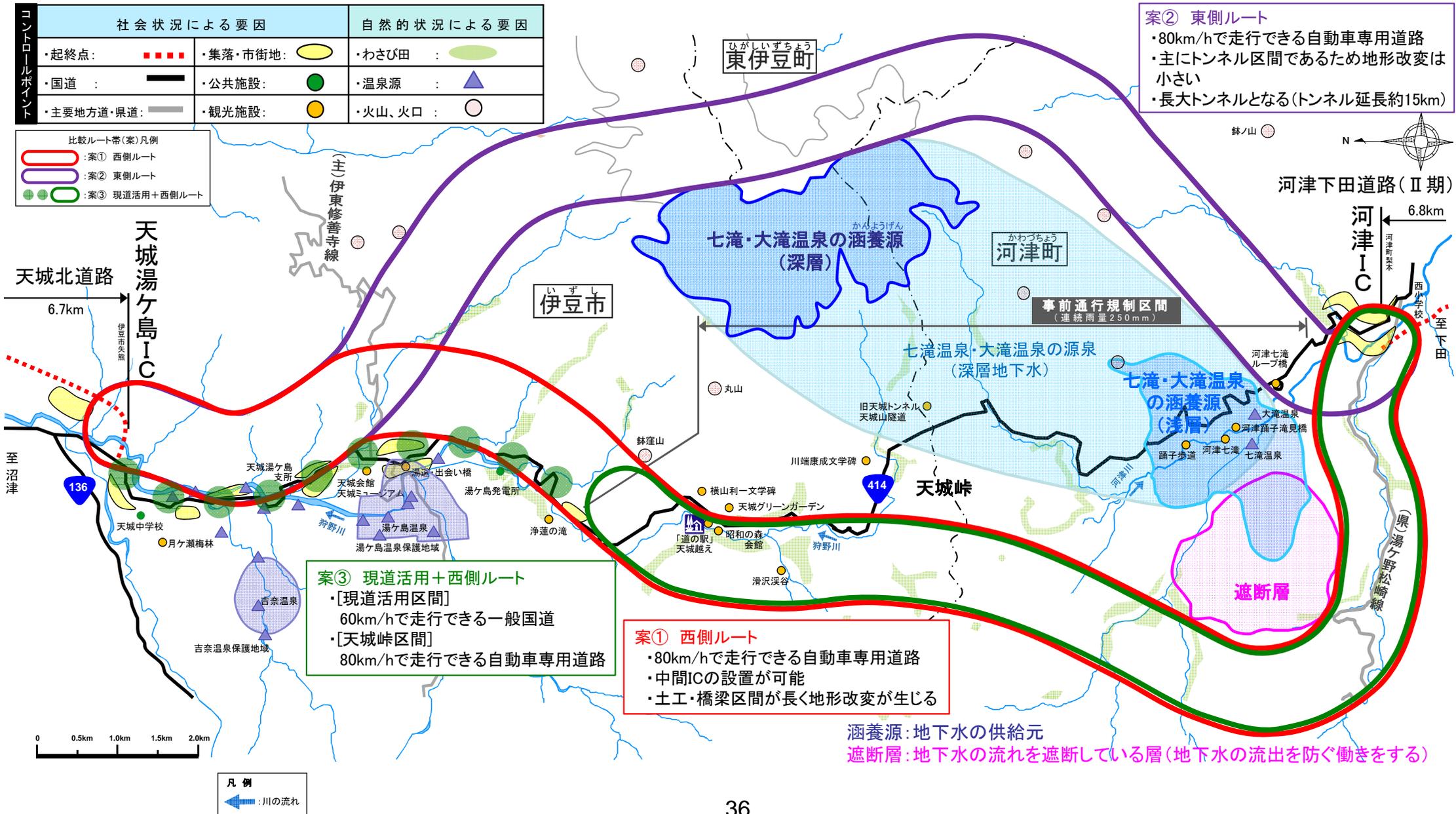
東側ルート

【案③】

現道活用＋西側ルート

4. 意見聴取方法 3)第2回アンケート案(対策案の概要)

■全線自動車専用道路を整備するルート帯および一部現道活用するルート帯の3路線を選定。



4. 意見聴取方法 3)第2回アンケート案(対策案の評価項目)

■各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明。

評価項目		案①:西側ルート	案②:東側ルート	案③:現道活用+西側ルート	
ルート帯概要	概要	80km/hで走行できる自動車専用道路	80km/hで走行できる自動車専用道路	現道を活用しながら60km/hで走行できる一般道路+80km/hで走行できる自動車専用道路	
	延長	約20km	約20km	約20km	
「政策目標」に対する評価	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 危険物積載車両制限なし	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 長大トンネルで危険物積載車両制限がある 危険物積載車両制限なし	
		防災	現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	現道活用区間では、現道国道414号の代替路が確保されない
	救急医療施設等への速達性、確実性の確保	医療	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	案①、案②に比べて救急医療施設等への速達性、確実性に劣る
		安全性	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される
	高速ネットワークの確保による観光振興の支援	観光産業	浄蓮の滝等の観光施設にアクセスしやすい	案①に比べて浄蓮の滝等の観光施設にアクセスしにくい	浄蓮の滝等の観光施設にアクセスしやすい
		速達性	自動車専用道路であるため速達性に優れる	自動車専用道路であるため速達性に優れる	案①、案②に比べて、速達性に劣る
	「配慮すべきポイント」に対する評価	自然環境の保全	温泉	温泉影響範囲を回避しているため影響がない	温泉影響範囲を回避しているため影響がない
			景観	案②に比べて地形改変が大きい	トンネル区間がほとんどであり地形改変が小さい
生活環境への配慮		集落への影響が小さい	集落への影響が小さい	案①、案②に比べて、現道活用区間において、集落への影響が大きい	
経済性への配慮		約1,300~1,500億円	約1,400~1,600億円	約1,100~1,300億円	

4. 意見聴取方法 3)第2回アンケート案(質問事項)

- 「対策案（ルート帯案）」について確認。
- 「質問事項」と合わせて、自由意見や回答者の属性を確認。

■質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

※別紙に示した「各ルート帯案の比較」及び「各ルート帯案の比較表」を参考にお答えください。

質問1 この地域(天城湯ヶ島～河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはなんですか。
以下の①～⑩の項目について**5段階評価**してください。

<5段階評価>

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

- ①全ての車が通行できることが重要
- ②災害時にも通行ができることが重要
- ③救急病院へ早く到達できることが重要
- ④観光施設や集落に立ち寄りやすいことが重要
- ⑤観光施設や集落に早く到達できることが重要
- ⑥温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要
- ⑦地形改変が少なく、景観への配慮がなされていることが重要
- ⑧工事中の地域への影響が少ないことが重要
- ⑨整備費用が安いことが重要
- ⑩その他(自由回答)

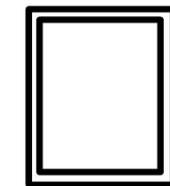
質問2 天城湯ヶ島～河津間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

■回答者属性

郵便はがき



4 1 0 8 5 6 7



差出有効期間
平成〇年〇月〇日まで
【切手不要】

〇〇〇

静岡県沼津市下香貫外原3244-2
国土交通省沼津河川国道事務所
調査第二課 行

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)に関するアンケート

あなた自身についてお聞かせください(Q1～Q4)。

住所	<input type="checkbox"/> 1: 下田市 () <input type="checkbox"/> 2: 伊豆市 () <input type="checkbox"/> 3: 東伊豆町() <input type="checkbox"/> 4: 河津町 () <input type="checkbox"/> 5: 南伊豆町 () <input type="checkbox"/> 6: 松崎町 () <input type="checkbox"/> 7: 西伊豆町 ()
性別	<input type="checkbox"/> 1: 男性 <input type="checkbox"/> 2: 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 1: 19歳以下 <input type="checkbox"/> 2: 20代 <input type="checkbox"/> 3: 30代 <input type="checkbox"/> 4: 40代 <input type="checkbox"/> 5: 50代 <input type="checkbox"/> 6: 60代 <input type="checkbox"/> 7: 70歳以上
自動車利用	<input type="checkbox"/> 1: ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2: 週に数回程度 <input type="checkbox"/> 3: 月に数回程度 <input type="checkbox"/> 4: ほぼ利用しない <input type="checkbox"/> 5: 全く利用しない
利用目的	<input type="checkbox"/> 1: 通勤・通学 <input type="checkbox"/> 2: 業務 <input type="checkbox"/> 3: 観光・娯楽 <input type="checkbox"/> 4: 買い物 <input type="checkbox"/> 5: 通院等 <input type="checkbox"/> 6: その他:
目的地	()都・道・府・県 ()市・区・町・村()